

国際連合地域開発センター拠出金

30百万円(30百万円)

水・大気環境局自動車環境対策課

1. 事業の概要

アジア地域ではモータリゼーションの進展により環境負荷が著しく増大し、環境的に持続可能な交通(E S T)の実現が喫緊の課題である。そこでアジア地域一体でE S T推進を図る地域協力の枠組みを、平成17年に我が国と国連地域開発センター主導で構築している。事業は、「政府ハイレベル政策対話の継続実施」、「国別戦略プラン策定」等の4本柱で構成されている。これまでに、E S T推進をサポートする国内外専門家チーム結成、アジア地域のE S Tコンセプト策定等の基礎的段階を終えている。なお、平成19年度には、市長レベルによる政策対話を通じた取組強化を図ったほか、新たに南アジア8カ国の参加を得て、地域全体をカバーする取組みに発展した。また、国別戦略策定も進展しており、平成20年3月に開催された第3回フォーラムの場で、第1フェーズ国の中間報告が行われた他、第2フェーズ国としてフィリピン、インドネシアで新たに取組むことが確認されている。今後は、E S T実現に向けた実践・拡充段階として、具体的な事業の実現に向けて取り組んでいく。

日本は、自らの公害克服の経験と智慧等を活かしつつ、共にクリーンアジアを構築すべく、この活動を継続的に支援していく。

2. 事業計画

継続的な政策対話(アジアE S T地域フォーラム)

各国の経験、知見の共有、戦略プラン、アジアイニシアティブの進捗状況、新たな課題等について議論する定期的な政策対話を実施する。

アジアEST戦略の推進

平成19年4月にアジア市長E S T会議を、アジア開発銀行年次総会のプレイベントとして開催したが、E S Tの実現に向け、国連、A D B やJ I C A等の援助機関や民間機関とも引き続き連携していく。

アジアイニシアティブ策定支援

各国の現状や課題を客観的に把握し、取るべき施策の選択を容易にする各種指標等のプラットフォームを構築する。

国別戦略プラン策定支援

各国の状況に応じた各種施策を取纏める。カンボジア、ラオス、ベトナムの計画が今年度完成予定であり、平成21年度は第2フェーズ対象国（インドネシア等）での戦略策定をスタートさせる。

3. 施策の効果

- ・アジア地域全体におけるE S Tの実現に向けた方向付け
- ・アジア地域を中心とした環境国際協力の展開を通じ、わが国のプレゼンスが向上

4. 備考

拠出金 30百万円

（内訳）国別E S T戦略の策定とフォロー
アジアイニシアティブの策定支援
継続的な政策対話の実施

アジアEST推進事業の全体概要

背景

アジア地域における急速な
経済発展・都市化

モータリゼーションの進展に
起因する環境負荷の深刻化

アジア諸国に広く共通の課題

但し、日本、シンガポール等の
一部先進国では、既に多くの
知見、ノウハウ等をもつ

アジアEST推進に向けた枠組みづくり

アジアEST地域フォーラム

アジア地域の22カ国が参加
(日本、アセアン10カ国、南アジア8カ国、
中国、韓国、モンゴル)

政府間
政策対話

アジア
EST戦略

アジア
イニシアチブ

国別戦略

国連地域開発センターの主導

日本の支援

- ・アジア地域の環境政策に対する影響力確保
- ・交通公害対策先進国としての知見提供などの国際協力
- ・日本発の環境技術・製品等の紹介